

夢
の
花
が
ひ
ら
く
ま
ち
に
し
お



西尾市合併10周年記念式典

令和3年4月11日
西尾市文化会館

N i s h i o c i t y 1 0 t h a n n i v e r s a r y

西尾市合併 10年のあゆみ

NISHIO TIME LINE

○総務省告示第三十一号
市町の廃置分合
地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第七條第一項の規定に基づき、幡豆郡一色町、同郡吉長町及び同郡幡豆町を廃し、その区域を西尾市に編入する旨、愛知県知事から届出があったので、同條第七項の規定に基づき、告示する。
右の処分は、平成二十二年四月一日からその効力を生ずるものとする。
平成二十三年一月三十一日
総務大臣 片山 善博



2011年1月31日
総務省告示

2014年1月12日
成人式

| | | | | | |
|----|-----|------|-------|---|-----------------------------|
| 平成 | 23年 | 2011 | 1.31 | 西尾市と幡豆郡三町の合併が官報で総務大臣から告示される | |
| | 23年 | 2011 | 4.1 | 西尾市と幡豆郡三町が合併し、新「西尾市」が誕生する | |
| | 24年 | 2012 | 4.1 | 旧西尾市の小中学校は二学期制、旧幡豆郡の小中学校は三学期制だった学期が統一され、全小中学校が三学期制になる | |
| | 24年 | 2012 | 6.15 | 人口が17万人になる | |
| | 25年 | 2013 | 12.15 | 市制60周年記念式典で山形県米沢市と「友好都市提携」を締結する | |
| | 26年 | 2014 | 1.12 | 合併後、初の同一会場での「成人式」が総合体育館で開催される | |
| | 26年 | 2014 | 11.5 | 「17万人市民まると防災訓練」が市内各地で実施される | |
| | 27年 | 2015 | 8.4 | イタリア、ミラノ万博で「西尾の抹茶」の呈茶が行われる | |
| | 28年 | 2016 | 8.7 | 皇太子殿下（今上天皇陛下）が岩瀬文庫を視察される | |
| | 28年 | 2016 | 10.1 | 「西尾市機能別消防団」が旧西尾市地域で結団される | |
| | 29年 | 2017 | 4.28 | V・プレミアリーグ女子の「デンソーエアリービーズ」とホームタウンパートナー協定を締結する | |
| | 30年 | 2018 | 11.14 | 初の「女性議会」が市議会議場で開催される | |
| | 令和 | 元年 | 2019 | 3.25 | 名鉄西尾駅西側に宿泊施設「アクセスイン西尾」が開館する |
| | | 2年 | 2020 | 7.11 | 西尾城二之丸丑寅櫓と屏風折れの土塀が完成する |
| 2年 | | 2020 | 10.23 | 図書館での本の貸し出し履歴が記帳できる「読書通帳」が始まる | |



2014年11月5日
17万人市民まると防災訓練



2018年11月14日
女性議会



2020年7月11日
西尾城二之丸丑寅櫓と土塀

「西尾市合併10年のあゆみ」は、132項目の大型年表として大ホールホワイエに展示しています。ぜひ併せてご覧ください。また、4月19日から、市役所1階福祉課前口ビーで展示します。

西尾市合併10周年記念式典

令和3年4月11日（日） 午前10時～午前11時30分

西尾市文化会館 大ホール

次 第

オープニングアトラクション：合併10周年記念映像上映

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 市長式辞
4. 市議会議長あいさつ
5. 来賓祝辞
6. 来賓紹介
7. 私たちのまち西尾「未来へのメッセージ」作文コンクール表彰式・発表
8. 西尾市シティプロモーション特命大使任命
9. スポーツ都市宣言
10. 西尾市合併10周年記念オリジナルフレーム切手の披露
11. 閉式のことば

エンディングアトラクション：和太鼓演奏

「山田純平×熱響打楽」



ごあいさつ・祝辞



西尾市長
中村 健

平成23年4月1日から新西尾市として新たな歴史を刻んでまいりました。先人達が積み上げてきた豊かな歴史を持つ1市3町が、それぞれの良さを活かし合い、こうして10周年の節目を迎えることができましたのも、市民の皆様を始め、関係者の方々のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

この10年は、国と地方が総力を結集して、社会的課題である人口減少・少子高齢化問題の克服と成長力の確保を目指し、地方創生に向けた取組みを深化させてまいりました。本市においても、教育・子育て支援の充実、公共交通の利便性の向上、地域経済の活性化となる産業振興・企業誘致、戦略的な誘客活動を展開する観光文化事業を一步一步着実に展開し、一定の成果を挙げる事ができたものと考えております。

この10年間で築き上げた成果を土台として、次なる10年に向けて私たち一人一人が地域の未来を自分のこととして考え、未来への夢や郷土への誇りを持てる「日本一ワクワクするまち・西尾市」の実現を市民の皆様と一緒に目指してまいります。

今後とも皆様方からのより一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。



愛知県知事
大村 秀章

西尾市が合併10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

合併を経て、新しく生まれ変わった西尾市は、多様な産業や文化を擁する西三河の中核を担う都市として、着実な発展を遂げてこられました。ここに、市の発展を支えてこられました市民の皆様を始め、関係者の方々に対し、深く敬意を表する次第です。

特に、近年では、「第7次西尾市総合計画 後期計画」に基づき、自然と文化と人々がとけあい心豊かに暮らせるまちづくりを進めておられると伺っております。新型コロナウイルス感染症により市民生活や経済活動に大きな影響が生じる中ではありますが、これまでの取組の成果を生かし、今後も時代に即したまちづくりを進められますことを期待しております。

最後になりましたが、西尾市の益々のご発展と市民の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



前西尾市長
榊原 康正

合併10周年をお慶び申し上げます。「光陰矢の如し」あっという間の10年でしたが、それぞれの地域の特徴を活かして順調に発展していることは大変喜ばしい限りであります。

「合併」、私には最大の願望であり、平成3年西尾市議会議員選挙に初出馬した際の公約は、一市三町の合併でした。それ以降、5回の選挙で同じ公約を掲げましたが実現できず、まだ機が熟していませんでした。

そして、平成21年に西尾市長に就任し、その2年後に合併を成し遂げました。振り返ると、実現に20年の歳月を費やしたことになりますが、夢が成就するには、いかにタイミングが重要であるかを痛感いたしました。

県・市・町の担当職員の頑張り、市議会、町議会の協力、国では合併特例法の存続、そして、何よりも心強かったのは、故・都築譲元一色町長、山本一義元吉良町長、渡辺靖元幡豆町長が任期途中で失職という状況の中で、先頭に立って行動されたことでもあります。今日においても心から敬服しております。

新型コロナウイルス感染症との戦いの日々の中、私たちも英知を結集して、日本一暮らしやすい西尾市を築き上げましょう。本日はおめでとうございます。



元一色町議会議長
今川 光

西尾市幡豆郡合併10周年誠におめでとうございます。

平成23年3月11日の東日本大震災に日本中が震撼し、その日から半月後、一色町の長い歴史に終止符が打たれました。閉町式で町旗が降納される時、一色町での思い出が走馬灯のようにかけめぐり、壇上にいた私も涙が止まりませんでした。合併については、賛否両論ありましたが、「案ずるより産むが易し」でした。あっという間に10年が過ぎましたが、その間の合併による大きな弊害は無かったと思います。

新西尾市には、林業以外の主な産業はすべて存在し、県内でも類を見ない多業種な市ができたと思います。そして、合併により西尾の祇園祭・鳥羽の火祭り・吉良の花火・一色の大提灯と県下有名なイベントも新西尾市の宝となったように感じます。

末筆になりましたが、17万市民の健康と西尾市のさらなる発展をご祈念申し上げましてご挨拶いたします。



元吉良町長
山本 一義

合併10周年を迎えられましたことに心からお祝いとお喜びを申し上げます。

歴史をさかのぼると、今から800年前から私たちの縁は続いていました。源氏の名門、足利義氏が三河国の守護となり、吉良荘の地頭に任命された際、現在の矢作古川を境として錦城町の位置に西条城を、吉良町駿馬の位置に東条城を構えたのがその縁の始まりです。こうした史実の中、吉良町が西尾市と合併したことは、自然の流れであり、運命であったと私は思っています。

吉良町民は、どのような境遇であっても町民同士が互いに助け合い、励まし合うという心を持っていました。また、伝統を重んじつつも、新たな産業を興し、文化の礎を築くなど、先人達はたゆまぬ努力を継続してまいりました。そしてその成果が、現在につながっています。

西尾市が今後も末永く発展していくには、一人一人が市民としての「誇り」と「自覚」を持ち、新市の将来像の実現に向けて、それぞれの立場で役割を果たすことが大切です。吉良町民が郷土に愛着を持っていたように次代を担う若者にも強く愛される「西尾市」になっていただくことを期待して、お祝いの言葉とさせていただきます。



愛知県議会議員
(元幡豆町長)
渡辺 靖

平成23年4月1日に生活圏で深い繋がりのある西尾市と幡豆郡3町が旧市町の垣根を越えて合併10年の節目を迎えることができました。合併以来、将来を見据えた新西尾市として、先人から受け継いだ各地域の歴史、文化、豊かな資源を活かし、次代に向けてのまちづくりに多大なるご支援、ご厚情を賜りました市民の皆様、行政機関や各種団体の皆様に敬意と感謝申し上げます。

さて、地方の自治体を取り巻く環境は、少子高齢化の急速な進行、地方分権の進展、行政ニーズの多様化など社会構造が大きく変化しています。そのような中でも、西尾市にはこれからも住民のより身近な自治体として成熟を目指し、質の高い行政サービスが提供できるよう目標をもって、都市基盤整備や各種施策の推進など住民の利便性の向上が図られることを大いに期待しています。

結びに、合併10年を祝い、さらに躍進する西尾市の限りないご発展と、市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます、お祝いのご挨拶と致します。

『西尾の抹茶おもてなし条例』を制定

西尾市合併10周年を迎えた令和3年は、「西尾の抹茶」が、文永8年(1271年)創建の実相寺境内に、最初の茶種を蒔いたことに始まり750年、明治5年(1872年)頃に紅樹院が宇治から茶種と製茶技術を導入してから150年を迎えようとする節目の年となります。

この度、そんな歴史深い「抹茶のふるさと西尾」を誇りに思うとともに、「西尾の抹茶」の普及や、客人に振る舞うことを通したおもてなし機運の醸成を市・茶関係者・市民が連携協力し推進することにより、更なる本市の発展を目指すため、『西尾の抹茶おもてなし条例』を制定しました。今後は、下記に示す取り組みを進めていくよう努めてまいりますので、市全体での盛り上げにご協力いただきますようお願いいたします。

◇ 市の役割(第3条関係)

文化、教育、観光、産業等において、「西尾の抹茶」の普及及びおもてなし機運を醸成するため、必要な施策に取り組むよう努めます。

《具体的取組例》

- 式典・イベント等における呈茶サービスの実施
- 学校教育現場などにおける「西尾の抹茶」文化の継承

◇ 茶関係者の役割(第4条関係)

「西尾の抹茶」の普及及びおもてなし機運の醸成に主体的に取り組むとともに、市及び市民と連携して推進するよう努めましょう。

《具体的取組例》

- 「西尾の抹茶」を使用したオリジナル商品の開発
- 国内外における普及・啓発活動や、SNSなどを利用した情報発信

◇ 市民の参画、協力(第5条関係)

市及び茶関係者が行う「西尾の抹茶」の普及及びおもてなし機運の醸成に関する取り組みに参画、協力するよう努めましょう。

《具体的取組例》

- 「西尾の抹茶」関連行事への積極的参加
- 客人へのおもてなしの心を持った対応(積極的な挨拶の励行)

◇ 「西尾の抹茶」を使ったおもてなし(第6条関係)

市・茶関係者・市民は、本市の魅力を多くの人に知ってもらうため、「西尾の抹茶」を使ったおもてなしに努めましょう。

《具体的取組例》

- 会議や来客対応における「西尾の抹茶」の呈茶
- 宴会や食事会における「西尾の抹茶」を使った献杯や料理の提供

本日お配りしております「フルーティー抹茶」は、本条例の取り組みの一環です。是非お召し上がりください。



合併10周年記念 西尾市のプロモーション動画が 完成しました

アニメーションと西尾市内の実写映像、美しいドローンの映像を織り交ぜた新感覚PR動画。

宇宙人の兄妹ニッシとシオンの二人。そして、不思議な物知りペット(?)オマッチがYouTuberならぬUtuber(ウーチューバー)として全宇宙で「バズり」するような映像を求めて地球へやってきた!

合併10周年記念で誕生したキャラクターたちが、西尾市の魅力を次々に発見・紹介していきます。西尾市の未来を担う子どもたちにも郷土の魅力を改めて知ってもらえる、ストーリー仕立ての楽しいプロモーション動画です。



私たちのまち西尾「未来へのメッセージ」 作文コンクール優秀作品

合併10年を迎え次世代を担う子供たちの抱く、夢や希望をテーマにした作文コンクールを開催しました。最優秀賞・優秀賞を受賞された皆様をご紹介します。



テーマ ・小学6年生の部「10年後に伝えよう 西尾市の魅力」
・中学3年生の部「10年後の西尾市へ 私の提言」

小学6年生の部 最優秀賞

鶴城小学校 むらき あらた
村木 新

家族みんな大好きなまち「西尾」



中学3年生の部 最優秀賞

佐久島しおさい学校(後期課程) たかはし かなと
高橋 奏翔

みんなで一つに



優秀賞

| | | |
|-------|-------|-------------------|
| 西尾小 | 天野 咲雪 | 祇園祭の未来のために |
| 花ノ木小 | 渡辺 来空 | 楽しくてやさしい町西尾の魅力 |
| 八ツ面小 | 山田 棕楽 | 抹茶といえば西尾 |
| 西野町小 | 守山 大智 | 十年後も残したい西尾市の大切なもの |
| 米津小 | 浅井 美妝 | 十年後にもあってほしいもの |
| 中畑小 | 安井 千紘 | 十年後も変わらず好きな西尾市 |
| 平坂小 | 坂田龍之介 | 西尾の抹茶と未来 |
| 矢田小 | 河合 拓真 | ぼくの自まんの西尾市 |
| 寺津小 | 藤村 紗衣 | 十年後の西尾市へとどけ |
| 福地南部小 | 山崎 皓太 | 受け継がれてきたわた |
| 福地北部小 | 鈴木 穂香 | 緑色の宝物 |
| 室場小 | 阿部 仁海 | おひつわりと天王祭り |
| 三和小 | 牧野ひよ梨 | 笑顔あふれる西尾市に |
| 一色中部小 | 瀧場 奈緒 | 一色町を守る地いきの人 |
| 一色東部小 | 神谷あんり | 貴重な一色干潟 |
| 一色西部小 | 倉内 咲綾 | 大好きな西尾市の良いところ |
| 一色南部小 | 村松 優妃 | 大好きな西尾の自然 |

| | | |
|-------------|-------|-------------------|
| 横須賀小 | 國元 咲希 | 私の大好きな西尾の自然 |
| 津平小 | 兒玉 堯龍 | ぼくの夢をつなぐ西蒲線 |
| 荻原小 | 近藤 晴輝 | 大切にしたいお不動さん |
| 吉田小 | 判治菜々子 | 地元のためにがんばる祖父 |
| 白浜小 | 三浦 楓花 | 西尾市のおいしい物 |
| 幡豆小 | 神田 桃花 | 鳥羽の火祭り |
| 東幡豆小 | 堀 美鈴 | ふるさと西尾の良さを伝えたい |
| 佐久島しおさい(前期) | 筒井 大駕 | 僕たちの佐久島 |
| 西尾中 | 森 脩斗 | 西尾抹茶を全国に |
| 鶴城中 | 今泉遠一郎 | 僕たちの意識で未来が変わる |
| 平坂中 | 小野 未聖 | 高齢者と家族の幸せを願って |
| 寺津中 | 宮地 実結 | 私の大好きなまち西尾 |
| 福地中 | 山田 珠莉 | 私から友達へ西尾の魅力 |
| 東部中 | 浅岡 姫愛 | 温かい街、西尾を築き上げていくには |
| 一色中 | 村井 璃子 | 二〇三〇年の海 |
| 吉良中 | 加藤 恒晴 | 僕の町の家 |
| 幡豆中 | 後藤 巴月 | 私の考える理想の西尾市 |

スポーツ都市宣言

私たち西尾市民は、スポーツを愛し、
スポーツを通じて健康で豊かな心とからだを育て、
「スポーツで元気になるまち西尾」を築くため、次の目標を掲げ、
ここに『スポーツ都市』を宣言します。

- スポーツに親しみ、元気な心と体をつくります。
- スポーツを楽しみ、地域の絆を深め、ふれあいの輪を広げます。
- 地域や職場でのスポーツ活動を応援し、郷土愛を育みます。
- 多種多様なスポーツを通じて、明るく元気なまちをつくります。



西尾市シティプロモーション 特命大使紹介

国内や世界の様々な舞台上で活躍する西尾市にゆかりのある著名な方々に、本市の幅広い地域の魅力あるコンテンツを積極的に情報発信していただく『西尾市シティプロモーション特命大使』を委嘱します。

観光、文化芸術、スポーツ、産業など、著名な方々がそれぞれのご活躍の分野でご就任いただき、本市の魅力や思い出を伝えていただくとともに、自らの体験を語ることで、多くの人に夢や希望を叶えることの素晴らしさや楽しさを伝えていただきます。



■にしお観光特命大使

演歌歌手

葵 かを里

西尾市出身。NHK「歌謡コンサート」「BS日本のうた」等のTV出演、地元CBCラジオでレギュラー番組「葵かを里のがんばりん!」毎週(日) 23時~放送中!その他コンサート、ディナーショーを各地で開催。市制60周年記念で♪西尾恋歌を全国発売。きらまつり出演等、市の観光イベントに尽力。



■にしおスポーツ特命大使

水泳選手

石川 慎之助

西尾市出身。身長168cmながら大きな泳ぎが特徴で、世界ジュニア選手権やユースオリンピック、ユニバーシアードに出場するなどして活躍。2019年度は100mバタフライでその年の日本最高タイムを記録し、日本歴代2位の自己記録を持つ。現在、名門日本大学水泳部に所属しオリンピック出場を目指す。



■にしお歴史案内人

静岡大学名誉教授

小和田 哲男

戦国時代史研究の第一人者として知られ、各種歴史番組での解説でもお馴染み。NHK大河ドラマ「秀吉」、「功名が辻」、「天地人」、「軍師官兵衛」、「麒麟がくる」などの時代考証も務めた。吉良氏800年祭実行委員会の特別顧問も務めるなど、市の文化事業に貢献。



■にしお不屈のマラソン 特命大使

マラソンランナー

糟谷 悟

西尾市出身。箱根駅伝第79回大会(2003年)から第81回大会(2005年)にかけて、駒澤大学優勝メンバーとして貢献。2013年に悪性リンパ腫を患い、闘病の末、競技に復帰し感動を与えた。地元開催の「一色マラソン」にゲストとして参加するなど、市のスポーツイベントにも尽力。



■にしお文化芸術特命大使

画家

斎藤 吾朗

西尾市在住。1973年 ルーヴル美術館で「モナ・リザ」を公認模写(マルク・シャガール以来50年ぶり、史上2人目)。故郷の三河を中心に、風土、歴史、伝承、人々など身近な題材を赤絵(赤を基調にした作風)で描く。独立美術協会会員。日本美術家連盟東海地区代表。吉良氏800年祭実行委員長を務めるなど、市の文化事業にも貢献。



■にしお現代アート特命大使

グラフィックアーティスト

左右田 薫

西尾市在住。グラフィックアートを中心に、壁画、CDジャケット、画家と多方面で活躍。NBA選手を描いた壁画は世界24名のアーティストとして知られ、赤十字などの慈善活動にも積極的に参加。ARTを通じ時代のメッセージを発信。その活躍はミュージシャン、スポーツ選手、格闘家など多くの著名人から支持を得ている。



■にしお元気はうれしい! 特命大使

スギホールディングス(株)相談役
杉浦 昭子

夫・杉浦広一氏(スギホールディングス代表取締役会長)とともに夫婦で市内にスギ薬局を創業。事業活動の中で様々な地域貢献やCSR活動を実施しており、2016年にはスギ薬局創業40周年を記念し、「育てて頂いた地域の皆さまへの恩返し」として、健康と長寿を願う健康増進施設『西尾市民げんきプラザ』を無償貸与した。



■にしおスイーツ特命大使

パティシエ・ショコラティエ
高須 聡

西尾市出身。2018年フランスのクラブ・デ・クロクール・ド・ショコラで金賞を授与され、2019年にはサロン・デュ・ショコラパリで過去25年の最も優れたショコラティエ100人に選ばれた。JSAのソムリエの資格も持ち、講師としても活躍。西尾の抹茶を使った商品開発を行うなど、西尾抹茶のPRにも尽力。



■西尾段取りの鬼

プロアルバイト(ピザ屋の店員)
西尾 一男【友近】

芸人友近さんが扮するデリバリーピザ屋に勤める中高年プロアルバイト。ただただ我が道を行くおじさん!「段取りします」や独特の言い回しで人気を博す。同じ『西尾』つながりで興味を示したことをきっかけに、市公式YouTubeチャンネルに出演するなど、市の観光PRに貢献。



■にしお♡LOVEりん特命大使

歌手・モーニング娘。'21
牧野 真莉愛

西尾市出身。2012年11月よりハロプロ研修生として活動を始め、2014年9月にモーニング娘。に加入。2021年2月2日の二十歳の誕生日に発売した7冊目の写真集「真莉愛 二十歳」の撮影を西尾市でも行うなど、日頃からふるさと西尾を愛してやまない。



■にしお観光特命大使

俳優
南 翔太

西尾市出身。芸映所属。俳優。「ウルトラギャラクシー大怪獣バトル」で主役を務め、現在も映画、CMに出演し、活躍中。2020年には映画製作会社Shibuya Cinema Tokyoの代表取締役役となり、俳優バンド「東京やんちゃボーイズ」ではベースを担当。抹茶、うなぎ、しじみ汁と西尾の名産が大好き。



■にしお観光文化特命大使

和太鼓奏者
山田 純平

西尾市在住。名古屋市出身のプロ和太鼓奏者。西尾市を拠点に和楽総合芸術集団「山田純平×熱響打楽」を主宰し、国内外で演奏活動を展開。西尾市制60周年(2014年)/65周年(2019年)記念事業「千人太鼓」をプロデュースするとともに、「西尾夢太鼓」の製造発起人になるなど、和太鼓文化を通じて市の観光PRに貢献。



■にしおスポーツ特命大使

女子バレーボールチーム
デンソーエアリービーズ

V.LEAGUE DIVISION 1に所属する女子バレーボールチーム。2017年に西尾市とホームタウンパートナー協定を結び、相互協力による地域振興・スポーツ振興の取り組みを行っている。市イベントである「西尾祇園祭」への参加や、バレーボール教室を開催するなど、市の事業に積極的に貢献。

合併10周年記念 オリジナルフレーム切手発売

1,000シート
限定

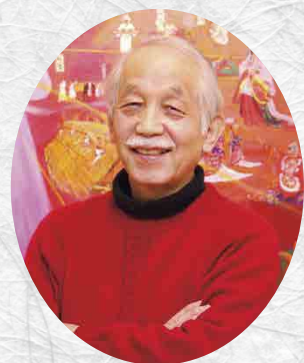


合併10周年を記念して西尾市の魅力をフレーム切手にデザインしました。

この切手は、合併した「新西尾市」の多様な魅力をふるさと西尾の歴史・文化・地域の風景をモチーフに長年にわたり描き続けてきた画家 齋藤吾朗氏の作品で紹介しています。



ルーヴル美術館で「モナ・リザ」を描き終え、西尾に帰ってくると「ふるさと赤い」ことに気がきました。西尾の土は赤土、三河湾に沈む夕日や鳥羽の火祭りで燃え盛るすすみの赤色も印象的でした。赤を基調に西尾の風土、歴史、伝承などを描き続け、たくさんの人たちに出会えました。合併10周年記念の10枚の切手に西尾の素晴らしさを知ってもらい、誇りに思ってもらいたいとの気持ちを込め作品を選定しました。



にしお文化芸術特命大使
画家
齋藤 吾朗氏

販売価格

1シート 1,200円(税込)

販売開始

令和3年4月12日(月)

販売数

1,000シート(84円切手×10枚/シート)

購入方法

- 窓口** 西尾市役所(秘書広報広聴課)、一色・吉良・幡豆の各支所で現金引換にて販売します。
- 郵送** 電話またはE-mailで、郵便番号・住所・氏名・電話番号・購入枚数を連絡し、代金(切手シート代と郵送料)を現金書留で送ってください。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

小型印スタンプラリー 期間限定

西尾・一色・吉良町・幡豆郵便局で、合併10周年を記念して制作された小型印(消印)が押印してもらえます。

【期間】 令和3年4月12日(月)～令和3年4月16日(金)

※西尾郵便局のみ17日(土)まで(各郵便局営業時間内)

市役所・各支所と各郵便局に専用スタンプラリーシートをご用意しています。

※切手(63円以上)を貼ってください。



本日の記念式典会場で記念切手の先行販売と西尾郵便局臨時出張所で小型印の押印を実施しています。

【記念切手に関するお問合せ先】 西尾市総合政策部秘書広報広聴課秘書担当 TEL 0563-65-2171
E-mail hisho@city.nishio.lg.jp

全国に誇る西尾の名産が奇跡のコラボ!!

合併10周年 鰻抹茶カレー誕生!!

特別記念品

うなぎ

「西尾の抹茶」と「一色産うなぎ」が
新たな価値を生み出しました。

合併10周年を記念して、西尾市が誇る二大特産品がコラボした西尾市オリジナルカレーが生まれました。これからの西尾市の融和の象徴として、新しい西尾名物として、全国へ向けて楽しく美味しく西尾をPRします。

特許庁認定の地域ブランド

西尾の
抹茶

日本有数の生産量を誇る
750余年もの歴史が息づく
「西尾の抹茶」を使用

生産量全国トップクラスの
シェアを誇る特許庁認定の
地域ブランド「一色産うなぎ」
を使用



勝の菌!
カチキの効薬で
成績
うなぎを昇り
開運

ぜひ西尾市をPR!!
カレーの感想や写真を
SNSで発信してね♡

エンディング
アトラクション

山田純平×熱響打楽



にしお観光文化特命大使
和太鼓奏者

山田 純平氏



西尾夢太鼓

～西尾を日本一の和太鼓が響くまちに～をテーマに活動を続ける山田純平氏が発起人となり、新たな西尾市のシンボルとして、平成30年に西尾信用金庫から西尾市に寄贈されました。西尾市にちなんで地上2.40メートルの偉容を誇る大太鼓の深い響きは、未来に向かう西尾市に新たな活力を呼び込む源となることでしょう。

幼少の頃より和楽器に親しみ、数々の和太鼓コンテストで入賞。2003年から「和太鼓松村組」の中心メンバーとして、12年間で約1,000回に及ぶ舞台を国内外で経験。他ジャンルとのコラボレーションも精力的に行い、幅広い構成のソロ公演も成功を収める。2016年から西尾市を拠点に和楽総合芸術集団「山田純平×熱響打楽」を旗揚げし、独自の舞台を世界に発信している。門下生600人による「熱響打楽フェス」などの大型主催イベントや、西尾市制60周年・65周年記念事業「西尾千人太鼓」をはじめとした行政の文化事業を数多くプロデュースするほか、全国各地のまちおこし曲の作詞・作曲も数多く手掛けるなど、和太鼓文化の普及と地域文化の振興にも力を注いでいる。

ONE
NISHIO
ミライへ

